

チム九

印刷を支え加工を活かす

Interview 32.

工場本部 瓜破工場 折部門
ちゃんたんさん

旭紙工業株式会社には、複数名の外国人技能実習生が所属しています。その中で今回は、2014年（平成26年）8月20日に入社し、現在は瓜破工場で活躍をするチャンタンサンさんに、これまでの経歴や今後の目標を伺いました。



——まずは入社してから現在に至るまでのご経歴について教えてください。

働きやすい職場環境があること、以前の仕事から環境を変え、自分のスキルのレベルを上

げること、キャリアアップをしたいと考えており、当社に入社しました。現在の業務は、機械のメンテナンス、機械のオペレーター、折の作業などです。短い時間で難しいセットアップができたとき、仕事のやりがいを感じています。

——これまでの仕事の中で、印象深い経験は何でしょうか。

ステッピングモーターに関する仕事をしたことです。そこでは最新の機械に触れることができただけでなく、柔軟なスケジュールで仕事に取り組むことができました。

——最大の挫折経験について教えてください。

これまで専門としていた分野と仕事の内容が異なり、今まで私が経験したことを活かすきれいなと感じました。現在は、私が携わっている仕事が会社と印刷業界の発展に役立つようにと意識しながら仕事をしています。また私自身のキャリアアップに繋がるような工夫もしています。

——もっと頑張りたい！と思うことはありますか。

社員の日本語レベルのレベルアップについて今よりさらに計画的に、工夫をしていただけたら嬉しく思います！

——それでは最後に、今後の目標について教えてください。

会社の目標を達成するとともに、私自身もレベルアップしていきたいと思っています！

Message For You

今回表紙を飾ったサンさんへ向けてのコメントを、
上司である折部門課長 寺山幸作さんより頂きました！

現在所属しているベトナム人の中で、機械セットが一番上手にできていると思います。機械のトラブルにもよく対応してくれている印象です。また、日本語が上手なので、いつも通訳をしてくれています。ベトナム人実習生達の中で、リーダー的存在として活躍してくれています！



設備紹介

—中綴じ機—



通販の雑誌やカタログを作成する際に使用する、「中綴じ機」。今回は、ミューラー・マルチニ社の中綴じ機について、瓜破工場で副工場長を務める山野さんに話を伺いました！使用するに当たり注意していることから中綴じ部門としての目標まで、内容が盛りだくさんです！



私が紹介します！

工場本部 瓜破工場
副工場長
やまの ひろゆき
山野 博之さん

紙の束から
本へ

Q.中綴じ機はどのような機械ですか？

製本する際、折り曲げた紙のV字の部分に針金を打った後、断裁し、紙が1枚ずつバラバラになるようにする機械です。印刷会社から折られた状態で頂いた紙の束を、冊子にする工程で用います。仕組みは比較的単純なので、運用するのに免許や資格は必要ありません。しかし、デリケートな中綴じ機は異常を感知するとすぐに停止してしまいます。そのため、作業員間の協力が肝要です。私が1997年に入社したときは、4台の機械で作業をしていましたが、会社の成長に伴い、計11台に台数が増えました。多忙期は11台全てをフル稼働しております。

安全性と効率が
大切！

Q.中綴じ機を使用するときの注意点はなんですか？

まず、怪我をしないことです。機械がエラーを感知するとフリーズしますが、きちんとした手順を踏んでエラーの原因を取り除かないと大怪我につながります。また、機械が停止しないように気を配っています。機械が停止する要因は、紙が詰まったり、紙の積み上げ方が乱雑だったり、表裏を逆に積み上げたり……とさまざまです。積み上げを効率化するために、自動で積み上げる機械を開発しております。韓国の企業と提携して試用しているのですが、あいにくコロナ禍で改良がストップしています。機械化が成功した暁には、作業の効率が高まることでしょう！

お客さんのため、
地道に
丁寧な作業

Q.中綴じ機を使用するとき大変なことはなんですか？

セッティングに時間がかかることです。長いときには、半日近くかかることも……！時間がかかる原因は、セッティングをする際に本の傷を一つずつ丁寧に直すことだと考えています。例えば、車のカタログや学校案内のパンフレットは、1冊につき1人のお客さんのみをご覧になります。だからこそ、手にとった1冊にもし傷があれば、それ一つで車会社や学校の評判は落ちてしまうため、細心の注意を払いながら業務に当たる必要があります。苦心しながら、中綴じ部門一同で精進しております！

キレイな現場と
効率アップ！

Q.今後の目標

副工場長としての目標は、「キレイな現場」にすることです！社長が以前から目標として掲げていますが、まだまだ達成できていないと感じます。私も始業20分前に出勤し、掃除をしてから作業を始め、帰宅する前に作業場の周りを片付けています。協力して、キレイな現場づくりを目指しましょう！中綴じ部門としての目標は、「年間平均稼働率を80%以上」にすることです。現在の稼働率は平均約79%なので、目標まであと一歩。ここ数年、目指していた数値ですが、ようやく成功の兆しが見えてまいりました。部門内の協力してくださる皆さんや、日々教育に尽力してくださる皆さんのおかげだと思っています。

